

吉田忠生¹・北山太樹²：エンドウモクのタイプ標本

エンドウモク *Sargassum yendoi* Okamura et Yamada は盤状付着器をもち、平たい主枝に互生的に葉を生じ、球形で円頂の気胞があり、生殖器床は密に分岐することなどを特徴として 1938 年の山田幸男の論文において岡村金太郎（1935 年に他界）との共同命名の形で新種として記載された (Yamada 1938)。現在は本州（太平洋岸では千葉県以南、日本海では粟島以南）から九州まで分布が知られている。原記載のときには Enosima and Hayama, Sagami Prov. (Herb. Biolog. Labor., Imp. Palace, Tokyo); Arasidomari near Simoda, Izu Prov. (S. Segawa) として相模江ノ島、相模葉山、伊豆嵐留の 3 箇所が産地として挙げられ、江ノ島産と葉山産については、皇居の生物学御研究所の標本に

基づいていることが明示されている。

「新日本海藻誌」の執筆を開始したさい、吉田はエンドウモクのタイプ標本について、当時皇居内の生物学御研究所に保管されていた昭和天皇コレクションを自分で調べることができないまま、以下のように記述した (吉田 1998 p. 413)。

タイプ産地：神奈川県江ノ島

タイプ標本：TNS (生物学御研究所 no. 296)

国立科学博物館

ところが、北海道大学と国立科学博物館の両ハーバリウムでエンドウモクの標本を精査したところ、この記述が誤りであることが明らかになったので報告する。

皇居の生物学御研究所にあった海藻コレク



図 1 *Sargassum yendoi* Okamura et Yamada (Holotype, SAP 21112)

ションは、昭和天皇が長年にわたって収集、研究された他の多くの生物標本および文献とともに国立科学博物館に移管され、現在はつくば市にある同館昭和記念筑波研究資料館に収蔵されて藻類標本室 (TNS-AL-R) に厳重保管されている。このコレクションにある TNS-AL-R 296 として登録されたエンドウモクの標本のラベルにはタイプライトされた文字で SP. NOV. と表記されているため、生物学御研究所の標本台帳にも同様に記帳され、これがタイプ標本であろうと考えられてきた。しかし、この標本が採集されたのは 1940 年 11 月のことであり、1938 年のエンドウモクの発表以前に山田がこの標本を参照したはずはない。従ってこれはタイプとは無関係である。また、この標本は江ノ島ではなく、葉山で採集されたものである。なお、生物学御研究所からは、葉山で採集された海藻類の同定のために、1935-42 年にかけて大量の標本が山田に送られ、同定の後に返却されており、そのなかには TNS-AL-R 296 以外のエンドウモク標本が数点含まれているが、いずれも葉山産で江ノ島産のものは含まれていない。北大に保管されている SAP 051106 も生物学御研究所に由来しており、これは返却後にお下げ渡しになったものであることが同定依頼の控えに記録されている。

北大理学研究科の標本室に所蔵されているエンドウモクの標本のうち、原著者によって調べられたと考えられるエンドウモクの標本を調査したところ、1938 年の発表で図版の写真の元になった 2 点があった。Plate 21 の標本は SAP 21111 を撮影したものであり、これは山田自身の採集品で日付は無く採集地は相模七里ヶ浜となっている。図版に使用されながら、産地として七里ヶ浜が挙げられていないので、この標本に関しては七里ヶ浜が江ノ島と混同されたものであろうと推理される。ただし、江ノ島産の標本がほかに実在しな

かったと断定することはできない。一方、Plate 22 に示されている SAP 21112 の標本 (図 1) は記載にも引用されているように伊豆下田嵐留で瀬川宗吉によって採集されたもので、これも日付は無いものの山田幸男の自筆で type! と記入されている。これらのことからエンドウモクの Holotype 標本は北大にある SAP 21112 であると結論せざるを得ない。従ってエンドウモクのタイプに関する記述を以下のように変更しなければならない。

タイプ産地：静岡県下田市嵐留

タイプ標本：SAP 21112 北海道大学理学研究科
この扱いによって、下記の標本が Isotype(?) あるいは Paratype となる。

Isotypes(?): 伊豆嵐留, 18 June 1937, coll. S.Segawa (SAP 048554, SAP 059607)。

Paratypes: 葉山小磯, 1928, Yamada det. no. 486 (TNS-AL-R 1660); 葉山鮫島, 16 Sept. 1935, coll. The Empress Kojun, Yamada det. no. 1 (TNS-AL-R 1663); 葉山一色, 6 Aug. 1936, coll. The Empress Kojun, Yamada det. no. 35 (TNS-AL-R); 葉山鮫島, 30 Aug. 1936, coll. The Empress Kojun, Yamada det. no. 34 (SAP 051106); 七里ヶ浜, May 1924, coll. Y.Yamada (SAP 21271, 21272); 七里ヶ浜, July 1924, coll. Y.Yamada (SAP 21273)。

貴重な標本の調査を許可していただいた、北海道大学理学研究科の増田道夫教授と昭和記念筑波研究資料館の並河洋主任研究官に感謝します。

引用文献

- Yamada, Y. 1938. Notes on some Japanese algae VIII. Sci. Pap. Inst. Algal. Res. Hokkaido Imp. Univ. 2: 119-130. 13 pls.
吉田忠生 1998. 新日本海藻誌. 内田老鶴圃, 東京.

(¹818-0103 太宰府市朱雀 6-13-13, ²305-0005 つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館植物研究部)